

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

「前立腺癌ステージングにおける全身 MRI DWIBS (Diffusion-weighted whole-body imaging with background body signal suppression) 法の有用性の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2016年11月28日から2021年7月19日までの間に、当院の腎泌尿器科でハイリスク前立腺癌 (PSA>20 またはグリソンスコア \geq 8 または病期 T2c/T3) と診断され、治療開始前に CT、骨シンチグラフィ、全身 MRI の全ての画像検査が2ヶ月以内に施行された方

2. 研究目的・方法

下記の試料・診療情報等を利用し、「全身 MRI DWIBS 法が前立腺癌の病期決定の際に有用な手段であるか」について解明することを目的とした研究を実施するため、当院においてハイリスク前立腺癌の診断を受けられた方の中で、治療開始前に CT、骨シンチグラフィ、全身 MRI の全ての画像検査が2ヶ月以内に施行された方を抽出し、研究者が診療情報をもとに、CT、骨シンチグラフィ、全身 MRI の各画像検査法における、リンパ節ならびに骨転移の検出率を算出、比較を行います。この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：診断名、年齢、検査結果（血液検査、画像）、治療内容 等

4. 研究組織

共同研究機関および研究責任者名

東海大学工学部医用生体工学科 教授 高原太郎

5. 情報の提供先・提供方法

上記の画像検査（CT、MRI、骨シンチグラフィ）情報を、東海大学医学部附属病院内に設置されている院内情報システムを使用して、共同研究者が閲覧します。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属大磯病院 （電話：代表 0463-72-3211 内線：5174）

研究責任者 腎泌尿器科 中島信幸

問い合わせ担当者 腎泌尿器科 中島信幸

-----以上